

# 市民文芸

## 短歌

阿南市文化祭秋季短歌誌上大会 選

入選 五センチも伸びてゐるすごいと足元を見れば背伸びの孫がにつこり 四宮ちとせ

入選 コロナ禍に帰れぬ子等を思いつつ墓石拭く背に降る蝉しぐれ 湯浅佐智子

入選 命賭け獲物運ぶは兵隊蟻地下の宮殿誰がため守る 渡邊 良子

入選 思い出を仕分けしている晩の秋遅咲き芙蓉の眩しき深紅 吉形 和恵

入選 罪あらば神よ仏よ許されよ怖くてならぬコロナと猛暑 荒瀬左知子

入選 浴衣着て花火と少女は口ごもり今年はな

入選 いから来年の夏 島尾 妙

入選 十八の将棋の王者聡太くん闘志しずかに記録を伸ばす 小田 和子

入選 検査水ボトルを前にのたまえり御神酒であればと老いの患者は 横山みつ枝

入選 濃淡の緑につつまれ法師蝉コロナ泡立て空へと放て 久積多美子

入選 手作りのマスクを並べ見本市「ああだこ

うだ」と吾はハナエ・モリ 松島 博子

## 俳句

阿南市俳句連合会 選

沈む陽に重なる影や冬かもめ

落の臺若き日の恋ほろ苦し

下萌の畦に古き道しるべ

春の月湯田温泉の露天風呂

風そよぎ鼻むず痒し春日和

日当りのよき祖母の部屋福寿草

ドアベルを鳴らし入り来る春コート

気が付けば土手に土筆のつんつんと

雨水とは名ばかりとなる今朝の景

観梅や梅に素心はなかりけり

横手鉄格子

多田紀久代

横井 知昭

陶久 晴義

藤井 一行

近藤 まい

山田 百代

寿田 淳乃

田上 隆敏

佐野 極童

## 川柳

阿南川柳会 田上鶴子 選

青春の秘密のページ日記帳

おめでたも控え目にして新所帯

思慕ひとつ心に持った長い春

おめでたい妻だ褒めたら酒が出る

コロナ禍に同情したか長電話

幸せを小出しに長い道を行く

客もなく密恋しがる老い二人

コロナ禍の一人の時間意義深い

一般応募

無限花序癒しをもらう春の花

独り居は自由もあるが不自由も

滝川 太郎

渡邊 浪漫

二階千代美

鈴木レイ子

橋本 征介

野村 敏子

野口 吾朗

持木 寿栄

鳥尾美津子

武田 敏子

## 漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社 選

取星寺看櫻

清明時節好春華

十里花堤蕭寺涯

香雪紅雲促酣醉

流鶯睨曉向人誇

折野 博子

清明の時節 好春華

十里の花堤 蕭寺の涯

香雪 紅雲 酣醉を促し

流鶯睨曉として 人に向かつて誇る

春寺夜色

夜櫻爛漫落花輕

隴月濛濛煙靄生

閑歩春宵塵外境

寺庭老樹惹詩情

谷口田鶴子

夜桜爛漫 落花輕し

隴月濛濛 煙靄生ず

閑歩の春宵 塵外の境

寺庭の老樹 詩情を惹く

看花往來

濃春行樂樂無窮

吟賞人追萬頃紅

凝佇花前香雪漲

千枝錦浪戰輕風

増喜 泰典

濃春の行樂 樂しみ窮まり無く

吟賞 人は追う万頃の紅

花前に凝佇すれば 香雪漲り

千枝錦浪 輕風に戦ぐ



【タケノコ】

本市は12月から収穫が始まる早掘りの産地として有名です。立地条件にあった施肥や親竹更新等により「早出し」技術の確立に成功。単価も良く収入につながっています。食用やピン詰めにして京阪神や北陸などに出荷しています。